

第1回 日本漢字能力検定 試験問題

氏名

〔不許複製〕

準2級 (A)

解答には、「常用漢字表」に示された漢字の字体、読みを使用すること。旧字体での解答は認めない。

(一) 次の一線の漢字の読みをひらがなで記せ。(30) 1×30

- 1 生涯忘れられない体験をする。
2 本来の目的から逸脱している。
3 心構えを改めるよう説諭する。
4 入社時に遵守事項の説明があった。
5 本名とペンネームを併記する。
6 書齋にこもって執筆に打ち込む。
7 喪中のため遊び事は自粛している。
8 寡聞にして存じません。
9 辺境で幽囚の身となった。
10 検査の前に問診を受けた。
11 おかしさを懸命にこらえた。
12 被告人の情状を酌量する。
13 調査結果を概括して報告する。
14 全小説を網羅した作品集を刊行する。
15 売り上げが年を追って逡増している。
16 交渉相手から妥協案が提示された。
17 悠久の歴史に思いをはせる。
18 享楽にふける生活に陥っていた。
19 早世した詩人の珠玉の一編を味わう。
20 投薬の効果が顕著にあらわれた。
21 旅先で漆塗りの盆を買う。
22 子供が増えて家が手狭になった。
23 晩年は尼として仏に仕えた。
24 巧みに舟を操って溪流を下る。
25 街道に沿って杉並木が続く。
26 いきなり襟首をつかまれた。
27 十分な準備をして本番に臨んだ。
28 よく熟れたメロンを切る。
29 浴道に人垣ができた。
30 口幅ったいことを申しました。

(二) 次の漢字の部首を記せ。(10) 1×10

〔例〕菜 門
1 壺
2 衡
3 痴
4 翻
5 音
6 凡
7 丙
8 累
9 准
10 泰

(三) 熟語の構成のしかたには次のようなものがある。(20) 2×10

ア 同じような意味の漢字を重ねたもの (岩石)
イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの (高低)
ウ 上の字が下の字を修飾しているもの (洋画)
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの (着席)
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの (非常)

次の熟語は右のア〜オのどれにあたるか。一つ選び、記号にマークせよ。

- 1 彼我
2 旋回
3 抹茶
4 閲兵
5 頒価
6 不穩
7 抗菌
8 親疎
9 叙勲
10 安寧

(四) 次の四字熟語について、問1と問2に答えよ。(30)

問1 後の□内のひらがなを漢字にして1〜10に入れ、四字熟語を完成せよ。□内のひらがなは一度だけ使い、答案用紙に一字記入せよ。(20) 2×10

- ア 大同小 1 カ 支離 6 裂
イ 多岐 2 羊 キ 7 牛充棟
ウ 3 知徹底 ク 少 8 氣鋭
エ 和洋 4 衷 ケ 悪戦苦 9
オ 真実 5 コ 10 象無象

い・う・かん・しゅう
せつ・そう・とう・ぼう
めつ・ろ

問2 次の11〜15の意味にあてはまるものを問1のア〜コの四字熟語から一つ選び、記号にマークせよ。(10) 2×5

- 11 ばらばらで筋道が立っていないこと。
12 方針や方法が色々あって迷うこと。
13 種々雑多なつまらない人や物。
14 指示や情報を行き渡らせること。
15 全体としてほとんど違いのないこと。

問題【1まいめ】

準2級

(A)

この面の設問(五)～(九)はマークシート方式ではありません。答えは別紙(答案用紙)に書くこと。

氏名

(五) 次の1～5の対義語、6～10の類義語を後の□の中から選び、漢字で記せ。□の中の語は一度だけ使うこと。

対義語

類義語

- | | |
|------|-------|
| 1 個別 | 6 懇切 |
| 2 軽侮 | 7 道徳 |
| 3 凡庸 | 8 同等 |
| 4 設置 | 9 庶民 |
| 5 拘束 | 10 看過 |

いだい・いっせい・しゃくほう
そんけい・たいしゅう
ていちよう・てつきよ
ひつてき・もくにん・りんり

(六) 次の―線のカタカナを漢字に直せ。

(20) 2×10

- 猫が毛を逆立ててイ嚇する。
- 事件の経イが明らかになった。
- 示サに富む話を聞いた。
- 工場が閉サに追い込まれた。
- 裁判のボウ聴を申し込む。
- 繁ボウ期は人手不足になる。
- 不用意な一言が舌力を招いた。
- 地元の銘力を土産にする。
- 経済的負担をシいる。
- 賛成が過半数をシめた。

(七) 次の各文にまちがって使われている同じ読みの漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を記せ。

(10) 2×5

- 福祉分野への就職希望者を対象とする施設見学会が企画された。
- 交通事故を起こした者が救護や通報を怠ると懲益又は罰金に処せられる。
- 外国の巨大企業との技術提携の可否を巡って社内で議論が沸到している。
- 日本各地の祭りが無形文化遺産に登録され、地域振向への期待が膨らむ。
- 地球の温暖化に歯止めがかからず極地で氷河の融壊が進んでいる。

(八) 次の―線のカタカナを漢字一字と送りがな(ひらがな)に直せ。

(10) 2×5

〈例〉問題にコタエル。

答える

- 打球は弧をエガいて飛んだ。
- さびたトタン屋根がクチル。
- 刑に服して罪をツグナウ。
- 借金の返済をセマられた。
- 時に両親をケムタク感じる。

(九) 次の―線のカタカナを漢字に直せ。

(50) 2×25

- よく冷えたゲンマイ茶を飲む。
- 釣りをユイイツの趣味とする。
- 車をブンカツ払いで購入した。
- 高原の涼味をマンキツした。
- 戦地でイリョウ活動に従事する。

(下へつづく)

- 地球は太陽系のワクセイである。
- 犯人が本国にソウカンされた。
- 社会からカクゼツして生きる。
- 祖父のショウゾウ画を壁に掛ける。
- 結婚のショウダクを得た。
- 看板にケイコウ塗料を使う。
- サツバツとした風景が続く。
- 通院して歯列をキョウセイした。
- カルシウムのセッシュに努める。
- 凶作で人々はキガに苦しんだ。
- 池のコイが大きくハねた。
- タナに食器をしまう。
- 来賓から祝辞をタマワる。
- 上棟式でカンヌシがおはらいをした。
- 清流のアサセで小魚をとる。
- 我がチームは選手の層がウスい。
- 示し合わせてひとシバイ打つ。
- オしいところで勝利を逃した。
- 中天にかかる月をアオぐ。
- 庭のスミに薪が積んである。

おわり